



斉藤 亜矢子さん
財団法人日本化学繊維検査協会

働きやすい職場で仕事をしながら、
将来の夢に向かって準備中です！

斉藤亜矢子さんは現在、財団法人日本化学繊維検査協会（東京都中央区）に勤務しています。同協会は化学繊維の輸出振興と品質向上のために設立された公益法人で、主に繊維・アパレル関連企業などの依頼を受け、公正な第三者の立場に立つテスト機関として製品の品質検査等を行っています。

「生地や色落ちなど、また製品では洋服の縮み、縫い方などについて、主にアパレル会社の依頼によって検査し、その結果を報告する財団法人です。私はそこで事務の仕事、受付やデータ入力、報告書作成などを担当しています」

勤務して半年余り。事務の仕事はほとんど初めてで、パソコンも苦手。最初は自信がなかったものの、実際、仕事してみると、パソコンの技術も身に付き、また何よりも、とても働きやすい環境だと斉藤さんは言います。

「職員は年齢が近い方や年下の方が多く、そういう意味では仕事しやすい職場です。個人的に洋服や生地にも興味があるのですが、職員向けに開催される繊維や衣類に関するセミナーに派遣スタッフも参加でき、いろいろ勉強になります」

斉藤さんがパットコーポレーションに登録したのは1年前のこと。最初の勤務先は手帳類の企画販売を行っている文具メーカーでの短期の仕事で、次が上記の財団法人。派遣会社の対応について「手帳をつくる会社では担当の方がよく見に来てくれて、とても安心しました。また、この仕事が終わると、すぐに次の仕事を紹介していただきました」と話しています。

大学では栄養科を専攻していた斉藤さん。卒業後、大手外資系喫茶チェーン店に就職しますが、そこで「コーヒーそのもの」に魅せられて3年後に退職。「コーヒー豆を作る様子を自分の目で見たい」という思いから、世界有数のコーヒー豆の原産地、エクアドルへ旅立ちました。現地でプランテーションではなく、有機栽培でコーヒー豆を栽培している農園を見学し、感銘を受けた、と言います。帰国後はその農園が生産したコーヒー豆を輸入する会社に就職し、本格的に焙煎の仕方を勉強しました。現在もコーヒー豆の焙煎教室に通い、また、週末にはライブハウスの厨房に立ってコーヒーを入れたり、自ら焙煎したコーヒー豆を販売したりしているそうです。

「将来的には自分で焙煎したコーヒーを入れて、自分で焼いたパンやケーキを出すようなお店をやりたいですね。今は派遣のお仕事を続けながら、そのための方法を考えたり、少しずつ準備をしているところです」

すべての繊維の原材料から製品までの一貫した検査を行っており、衣料以外にも生活資材、産業資材、ハイテク関連など幅広い分野に対応しています。また、世界各国の政府公団や諸団体等の指定(認定)検査機関として、国際的にも評価されています。

財団法人日本化学繊維検査協会
〒103-0021
東京都中央区日本橋本町4-4-20(三井第2別館)
TEL: 03-3241-7319 http://www.kaken.or.jp

「The Staff2000」を導入しています。採用の決め手は何だったのでしょうか。「マネジメンソフト関連のパンフレットを集めたり、各社の営業担当の方から話を聞いたりと検討しました。」



「当社では創業当初から『The Staff2000』を導入しています。採用の決め手は何だったのでしょうか。「マネジメンソフト関連のパンフレットを集めたり、各社の営業担当の方から話を聞いたりと検討しました。」

「私自身も使っていますが、事務処理を効率よく進めるという点では非常に有用なソフトだと思っています。また当社で決めたのは、スタッフの管理、受注データの管理、給与計算といった通りの業務ができるということ、総合的に優れていると考えたからです」

「当社のホームページには登録スタッフ専用のサイトがあり、スタッフは携帯から仕事の予約、出発連絡などを行うことができます。ですから、例えばWebとリンクしてリアルタイムにデータ入力、更新ができるような機能があるといいですね」



会社概要

本社：〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 3-27-14
藤本ビル 6F
TEL：03-5774-6451
http://www.pat-co.jp
代表取締役社長 尾崎卓治

事業内容：
一般労働者派遣事業、有料職業紹介事業、アウトソーシング業
一般労働者派遣事業許可番号：
般 13-300528
有料職業紹介事業許可番号：
13-1-302300

2004年9月設立、2006年9月に現事務所に移転。主な取り扱い業務はロジスティクス部門（倉庫内作業全般、工場内作業全般、フォークオペレーターなど）、オフィス部門（移転業務全般、レイアウト、OA機器設定など）、イベント部門（会場設営・撤去、場内案内、グッズ販売など）。

Progressive Attitudes Thrive（常に物事を前向きにとらえ、一步一步着実に前へ進んで行こう！）をモットーに、きめ細かいサービスの提供を心掛ける株式会社パットコーポレーション。同社の戦略、システム活用などについて話を伺いました。



取締役 田島 治さん

「最近ではホームページからエントリーも多くなっています。業務提携を結んでいきます。」

「人材派遣業は二にも二にも人が大事と田島さんは言い切ります。『クライアント様から』要望いただいた人材を集めるということももちろんですが、現場におけるスタッフへの対応、フォローアップも重要になってきます。そのためには我々社員が、それぞれの現場を知っている必要があります。どんな環境で、どんな仕事内容で、スタッフがどんな気持ちでやっているのか、あるいはクライアント様が我々に何を求めているのか。現場を管理する人には、それらを的確に把握するように指示しています」

「現場でのチームワークも重視しており、その一環として派遣先でスタッフを統率し、指導役にもなるチームリーダーの育成に力を入れています。派遣スタッフのステッピングアップを図ることで、一人ひとりのモチベーションの向上にもつながっています。」

疑問点は即その場で解決！
迅速なサポート体制に満足

あくまでも1つ1つの現場を大切に、今あるクライアントの要望に確実に

「当社は各地に拠点があるわけではありませんが、渋谷という場所やそこに集まる人々を考慮したうえで、どの年齢層がどういう仕事を求めているのか、どういうキーワードに引っかけられるかについて徹底的にリサーチしました」（田島さん 以下同じ）

「都心部で求人しても、現実問題として通勤時間などの問題があります。そこで、最初からクライアント様のいる地域で求人をして、面接も現地で行うようにしています」

「1つ1つの現場を大切にリーダーの育成にも注力」

「物流系は横のつながりが強く、裾野が広いのです。現在、製本関係のクライアント様も増えてきています。それも最初は1社だったのが、評価をいただいた、その声や業界内に広がり、派遣の依頼が増えたという経緯があります。クライアント様からの紹介で、まったく業種の異なる新たなクライアント様を紹介いただくことも少なくありません。そういう意味で、当社では特定の業界、業種に特化していくつもりはありません」

Face to Face

株式会社パットコーポレーション
1つ1つの仕事と現場を大切に
迅速で、きめ細かいサービスを提供

求人とは地域密着型で実施
幅広い年齢層も特徴の一つ

「当社は各地に拠点があるわけではありませんが、渋谷という場所やそこに集まる人々を考慮したうえで、どの年齢層がどういう仕事を求めているのか、どういうキーワードに引っかけられるかについて徹底的にリサーチしました」（田島さん 以下同じ）

「1つ1つの現場を大切にリーダーの育成にも注力」

「現場でのチームワークも重視しており、その一環として派遣先でスタッフを統率し、指導役にもなるチームリーダーの育成に力を入れています。派遣スタッフのステッピングアップを図ることで、一人ひとりのモチベーションの向上にもつながっています。」